

Biofeedback Certification Institute of America

米国バイオフィードバック認定協会(BCIA)

認定用基礎履修カリキュラム48時間

第2回

Dr. Peper の

臨床バイオフィードバック専門家

6日間集中養成プログラム



エリック・ペパー博士 (Erik Peper, Ph.D.)

- 米国サンフランシスコ州立大学 健康教育学部 教授
同大学 ホリスティック医療研究所 所長
- 欧州バイオフィードバック財団(BFE) 会長
- 米国バイオフィードバック学会(AAPB) 元会長
- 米国バイオフィードバック認定協会(BCIA) シニアフェロー
- カルフォルニア州知事賞受賞: Healthy Computing の功労

日時：平成20年10月12日(日)～10月17日(金) 午前9時～午後6時

場所：甲南女子大学 1号館 1階 / 兵庫県神戸市東灘区森北町 6-2-23

JR甲南山手駅より徒歩15分

参加費：15万円 定員：30名

共催：アイ・プロジェクト統合医療研究所 / 日本医療福祉情報行動科学会

後援：サンフランシスコ州立大学ホリスティック医療研究所

関西医科大学心療内科学講座

お申し込み・お問い合わせ：統合医療研究所 TEL&FAX 06-7492-0843

Eメール: natural@i-hi-med.com

ホームページ: www.i-hi-med.com

臨床バイオフィードバック専門家養成プログラム(通訳付き)

臨床バイオフィードバック(BF)の基礎と応用について、米国BF認定協会(BCIA)認定講師の第一人者であるペパー博士が講義と実技指導いたします。この日本初の6日間集中コースは、BCIA認定のための必修基礎履修カリキュラム48時間を全てカバーしています。BFの臨床応用に必要な基礎知識と実践のための具体的方法について、PC用多チャンネルBF機器を2~3名に1台使いながら学習します。日本語訳テキストを用いた通訳による講義と実習が行われます。集中コース修了後は、臨床現場での実践を支援し、開業も可能となるよう継続指導いたします。

プログラム内容:

- BFの基本知識
- 精神生理学の基礎: 表面筋電図(SEMG), 末梢皮膚温(TEMP), 皮膚電気活動(EDA), 呼吸(Resp.), 脳波(EEG), 容積脈波(PPG), 心拍数(HR), 呼吸性心拍変動(RSA), その他(簡易的BF手法)
- 生体信号の測定方法: データ記録時の注意事項と解析方法
- 精神生理学的ストレスプロファイル
- 併用するリラクゼーション法: 漸進的筋弛緩法, 自律訓練法, 誘導イメージ, 呼吸法など
- 自宅でのBFトレーニング: 体温計, フリーズ・フレーマー, セルフモニタリングなど
- BFの臨床応用の実際: プロフェッショナルとしての心得

- 1日目: 生体信号測定時の注意事項(感電防止, アーチファクトのチェック), プロとしての心得(義務と資格, クライアントの権利), 実習(TEMP-BF)
- 2日目: SEMG測定の実際(電極の位置, 多チャンネル測定), 不適切な筋緊張への気づき, 人間工学的評価(仕事時の姿勢など), 実習(SEMG-BF)
- 3日目: PPG, ECG, 心拍変動(HRV)測定の実際, ストレス, コーピング, 疾病の基礎知識, インテーク面接, 各種リラクゼーション法, 実習(TEMP, EDA, PPG, ECG, HRV-BF)
- 4日目: 呼吸測定の実際, 不適切な呼吸パターンの分析, 無理のない呼吸法の臨床応用, 誘導イメージ法, 実習(呼吸法, 多チャンネルResp.-BF)
- 5日目: 自律神経系BFの応用, プロとしての心得(スーパーバイズとコンサルテーション, 治療関係の取り方, カルテ保存), 実習(多チャンネルBFによるストレスプロファイル)
- 6日目: 脳波測定の実際(電極の位置, 多チャンネル測定), 心理療法(認知療法など)の併用, 飲食物や運動による影響, 実習(EEG-BF)

(お申込み用紙) FAXでお申込みの方は、下記にご記入の上、FAXして下さい。(FAX : 06-7492-0843)

お名前	(漢字)	(ローマ字)	
ご職業		所属	
おところ	〒		
TEL		FAX	
メールアドレス			

* Eメールまたは統合医療研究所のホームページからお申し込みができます。(アドレスはおもて面をご覧ください。)